

議事要旨（公表用）

H24 年度 第 3 回千葉県移動性向上プロジェクト委員会

開催日時：平成 24 年 7 月 13 日 15:00～17:00

開催場所：千葉市役所 議会棟 3 階 第 3 委員会室

委員会出席者：千葉工業大学工学部 教授	赤羽 弘和（委員長）
千葉県警察本部 交通部交通総務課	藤井 等（代理出席）
千葉県警察本部 交通部交通規制課	高津 功（代理出席）
社団法人千葉県トラック協会	岩井 亮（代理出席）
社団法人千葉県バス協会 専務理事	花崎 幸一
株式会社 千葉日报社 理事広告局長	鎗田 光明
社団法人 千葉県観光物産協会	松本 秀夫（代理出席）
千葉市 消防局 警防部長	佐藤 寿高
東日本高速道路(株) 千葉管理事務所長	光永 宏典
東日本高速道路(株) 市原管理事務所長	高木 一
東日本高速道路(株) 千葉工事事務所	谷中 慎（代理出席）
国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局長	門井 正則
千葉県 県土整備部 道路計画課長	齋藤 甚一
千葉県 県土整備部 道路整備課	根本 嘉生（代理出席）
千葉市 建設局 道路部長	山田 雄久
首都国道事務所長	山田 哲也
千葉国道事務所長	遠藤 和重
（オブザーバー）国土交通省関東地方整備局道路部	小幡 宏（敬称略）

■委員会規約の変更

事務局より規約の変更について説明し、委員の追加について承認を得られた。

■議事

（1）これまでの取り組み状況

これまでの取り組み状況（委員会資料 P2～P6）について事務局より説明を行った。

- 委員長 ・「これまでの取り組み状況」で、移動性阻害箇所 29 箇所について、PDCA がどの段階まで進んでいるのかよく分からないので、具体的な時間軸を示した方が良いのではないかと。
- 委員長 ・PDCA サイクルで評価済みまで進んだ箇所はないのか。
- 事務局 ・調査中で経過観察の箇所がいくつかあるが、評価済みの箇所はまだない。移動性阻害箇所 No. 7 の国道 357 号市川市区間では、高浜立体事業で立体化しており、対策効果がみられるため、評価済み区間として取り扱うことができるかどうか今後確認する。

（2）渋滞箇所等の特定方針

渋滞箇所等の特定方針（委員会資料 P7～P11）について事務局より説明を行った。

- 委員 ・新規追加候補箇所 No. 11 の浜野四街道長沼線（千葉市）について、区間延長が千葉市内の 21.6km 全線区間（委員会資料 P10）となっているが、全区間渋滞しているわけではないと思うので、区間延長の精査をお願いしたい。

<p>委員長</p>	<p>(3) 新たな移動性阻害箇所の選定方針の決定</p> <p>移動性阻害箇所の選定（委員会資料 P8）にあたり、これまでの視点（指標）で良いか、新たな視点（指標）は必要か、について議論を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療の視点に関して、現場での滞在時間のバラツキが小さいのであれば、その分を差し引いて、搬送時間や現場への到着時間の影響に着目して分析した方がいいのではないか。
<p>委員</p>	<p>(4) 首都圏渋滞ボトルネック対策協議会について</p> <p>配付資料「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会（千葉県版）」について事務局より説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボトルネック箇所 1 軸～3 軸には、既に整備が完了していてこれ以上整備ができないという交差点も含まれているので、その扱いを事務局と調整させてもらいたい。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選定箇所に対応できない場合でも、ネットワーク上、他の経路を選択してもらえよう他の渋滞箇所を改良するなどの方向性も考えられる。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回新しく提案された指標に基づく主要渋滞箇所の候補は、これまでの委員会で抽出されている箇所と整合性がとれており、概ね実感と合っていると言える。 <p>これまで移動性向上プロジェクト委員会で調整してきたデータを補完する意味で、新たな指標による抽出も採り入れて行けばよいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(5) 今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日頂いたご意見を踏まえて、選定指標や移動性阻害候補箇所の検討を行い、次回委員会では「移動性阻害箇所の選定」、「パブリックコメント」の実施方法・実施内容について議論させて頂きたいと考えている。